



中野こども病院 院外報

みんなで育てよう!

vol. 4

理念

私たちはいつも何が子どもにとって一番大切なことを考えて医療を提供します。

モットーとする言葉

愛情、信頼、誇り

基本方針

- ☀️ 子どもの立場にたった小児救急医療の充実に努めます。
- ☀️ 心身両面から専門的な診療を行い、フォローアップします。
- ☀️ 子どもの人権を尊重し、みんなで子育てを支援します。



社会医療法人 真美会

中野こども病院

中野こども病院と 地域との関わり

子育て支援

皆さま、こんにちは。中野こども病院の院外報「みんな子育てよう!」は、病院を利用される患者さん、家族、お知り合いの方のために発行される冊子です。中野こども病院は昭和41年(1966)に創立されましたので、今年で52年目を迎えています。その間、時代とともに社会や生活スタイルは変わり、こどもたちを取り巻く環境もずいぶん変わりました。しかし、私たちは、いつもこどもにとって何が一番よいことを考えて医療を行ってきましたし、その方針はこれからも全く変わることはありません。

こどもは多くの人と関わり、いろんなおとなの中で育てられることで、社会性や適応力を学びながら発達します。また、日常感染症にかかり、小さなけがを体験しながら成長していきます。しかし、病気という苦痛や不安に対処するには、普段から親の愛、社会の見守りを十分に受けていたとしても専門職の支援が必要です。病気や困難を乗り越えたときには、抵抗力と免疫が身に付いていることを親子で確認し合っ

てほしいと願います。小児医療の専門職が支援する視点はそこにあると

いつも過言ではありません。一方では、病気から回復して元気になっても、家庭や保育園・幼稚園、学校に戻る際に気を付けておいてほしいことがあります。また、病気や体質、特性と付き合いながら日常生活を行わねばならない場合もあります。そのようなとき、病院は家庭だけでなく園や学校と連携する必要があります。小児医療は病院内だけで完結するものでなく、地域の諸機関、団体、そしてご近所の方々などと連携しなければならぬといえます。

当院では、小児科医、看護師をはじめ薬剤師、栄養士、検査技師などの医療専門職とそれを支える事務職員の他に、医療ソーシャルワーカー、心理士と保育士など多くの小児専門スタッフが一体となつて日夜活動していますので、病院の力をうまく発揮すれば地域全体の安全に寄与できると思います。医療にとって必要なことは、安心を得るための信頼関係、そして情報の共有です。今や雑誌やテレビ、インターネットであふれるばかりの情報や知識を得ることができ、が多すぎて何がなんだかかわから

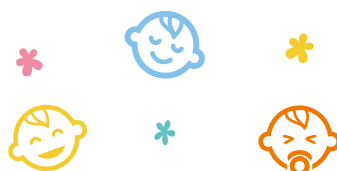
なくなっていますか。私たちは、こどもの日常の病気や健康問題について、わかりやすく説明したいと願っています。地域と関わりを深くしながら子育てを支援したいと考えています。大阪市の委託事業である病児保育もその一つですが、それだけでなく、医療、保健、福祉、教育など、こどもに関わる全ての機関や団体とネットワークを組んで活動していく方針です。9月には、「安心の子育て旭区民フォーラム」において、私が基調講演を行い、病院の展示ブースも出展しました。今後も、多くの催しに積極的に参加していくつもりです。当院のスタッフが病院を出て地域で活躍してくれることを望んでいます。どうぞよろしく願います。



中野こども病院 理事長・院長
木野 稔

「こどもの発達」を 知ろう！

ことばの発達について②



はじめての『ことば』

1歳の誕生日を迎える前後には、多くのこどもに「初語」が表れます。いわゆる、日本語として初めて意味を持つ『ことば』です。初語の始めは、例えば、「ワンワン」が4本足の動物全てを指すことが多いでしょう。しかし、1歳半ぐらいになるころには、イヌは「ワンワン」、ネコは「ニャーニャー」など、個々の動物に対して特定の『ことば』を用いるようになります。

また、文章ではおしゃべりできませんが、こどもは一つのことばにいろいろな思いを含めます。例えば、こどもが「マンマ」と言うとき、「お腹が空いた」ということでもあります。周りのおとなはこどものことばに込められた意味をくみ取りながら、気持ちに寄り添い、ことばを返すことでしよう。そのように、こどもはお

となからのことばを受け取りながら、どんどんことばを増やしていきます。

『ことば』の増加

一般的に、2歳になるころには「ワンワンイタ」「ママネンネ」と単語をつなげた「二語文」が表れます。また、この時期は「これ、なあに？」の始まりでもあります。この時期にこどものことばは急激に増加します。絵本などを一緒に見ながら、こどもが指さすもの、一つ一つに言葉をかけてあげるとよいでしょう。

3歳を過ぎるころには、自分の名前や年齢を答えることができるようになり、文章での会話が成立し始めます。また、質問が「なんで？」と、理由を尋ねるようなものに変化します。質問に答えても答えても「なんで？」が続く、おとなを困らせる時期かもしれません。正しい理屈を

答えても、まだ理解が難しいこともあります。「なんでかな？」という気持ちを共有し、一緒に理由を考えてみるのもよいかもしれません。

幼児期も後期になるころには、日常での会話が生活で困らない程度にまで語彙は増えるでしょう。話しことばを正しく発音できるようになるのもこの時期です。

『ことば』の遅れ

周りの子と比べてことばの発達がゆっくりである、どうしても心配になってしまふものです。しかし、3歳ぐらいまではことばが増えなかったけれど、その後は特に問題なくおしゃべりができるようになった子も周りを探せばたくさんいることでしょう。ことばの発達には、個人差が大きいということを忘れて

はいけません。ことばだけで判断するのではなく、周囲の状況や簡単な指示を理解できるか、家族や友だちとの交流を楽しむことができるか、ごっこ遊びやおとなの真似事をする様子があるかなど、その他の発達状況と合わせて考える必要があります。

また、ことばの発達がゆっくりであると、ついついことばを教え込もうとしがちです。特に年齢が幼いころは、教え込もうとして、おとなもこどもも疲れてしまふよりは、こどもとの時間を楽しみ、一緒にいろいろな気持ちを共有することが大切です。

ことばは、コミュニケーションの方法の一つです。相手に何かを伝えたいという気持ち、ことばの土台となります。ことばを増やすことのみにとらわれず、人と人が通じ合えることの喜びを忘れないようにしましょう。



お子さまと一緒にめりえをしましょう！
「こども美術館係」まで送りいただきましたら掲載させていただきます。



おはなし

きょうの たのしかったこと

かなしかったことを おうちの ひとに

おはなししましょう。

だれかに おしえてもらったり

ちゅういされたことも おはなししましょう。

いろんなことを おはなしすると

おうちの ひと

あなたのことが わかります。

そして みんなで いっしょになって

よろこんだり かなしんだり

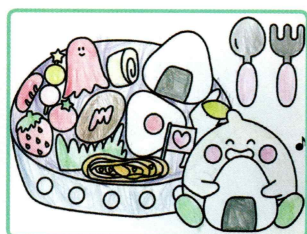
かんがえたりすることが できます。

いいことも わるいことも

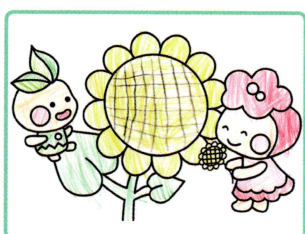
おはなししましょう。



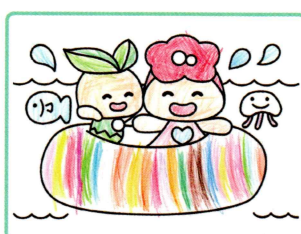
まいにち おはなししましょう



みやけ ふたばさん(6歳)



のぶはら ゆあさん(5歳)



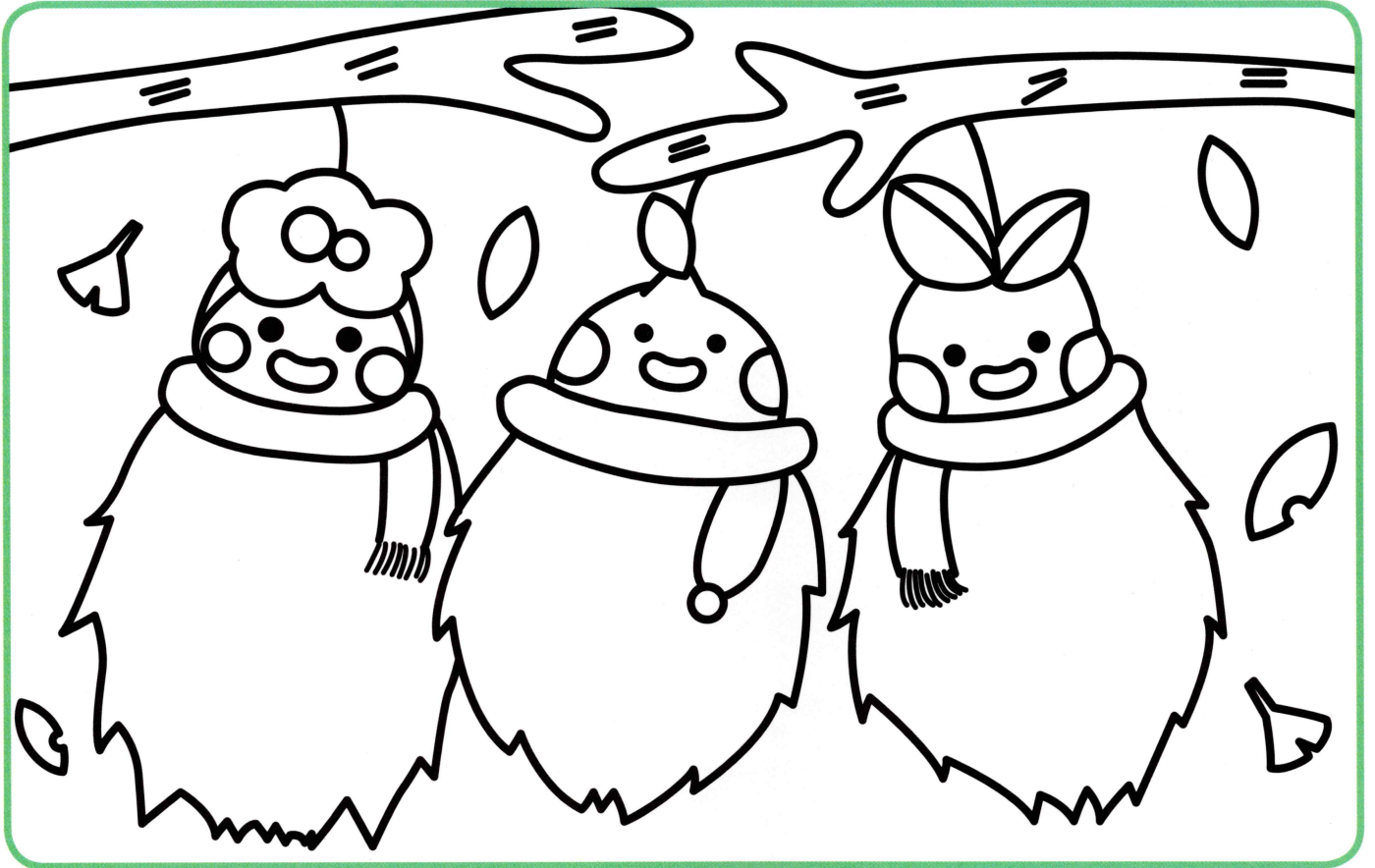
のぶはら ゆあさん(5歳)

めりえができたら
送ってね！
こちらのページに
掲載させていただきます

応募先

お名前、年齢、性別、ご住所、電話番号を記入の上、下記住所に郵送またはご持参いただくか、右記QRコードでWEBサイトに進み、お写真をお送りください。〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17 社会医療法人 真美会中野こども病院 こども美術館係 TEL. 06-6952-4771
※ご応募いただいた作品とお名前をこちらのコーナーに掲載させていただく場合があります。ご了承ください。





おてつだい

おてつだいは じぶんから すすんで
やりましょう。

おりょうり。おせんたく。おそうじ。
どうぶつや しよくぶつのおせわ。
いろんな おてつだいが あります。
おうちの おてつだいは かならず
やくにたちます。

いま おうちの ひとが
してくれていることは

おおきくなったら じぶんで

しなくては いけないからです。

おてつだいは なんでも じぶんで
できるよつになるための

れんしゅつです。



おうちの
おてつだいをしましょう

本文は「こころのドリル」(コミニケ出版)



たかき りあんさん(5歳)



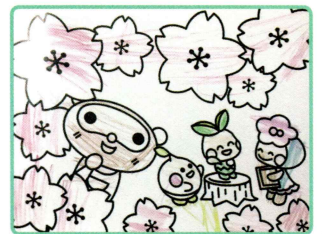
たかき りあんさん(5歳)



まつさか さつきさん(5歳)



まつさか さつきさん(5歳)



みやけ あおいさん(4歳)



部署紹介

栄養科

Nakano Children's Hospital



入院された子どもとご家族が、退院後も安心して食生活をおくられるように

日常生活における食育を意識した支援を心掛けています

安心・安全・楽しい食事を目指して

当院には3名の管理栄養士が在籍しており、献立作成などの給食管理業務の他、入院している子ども一人一人の栄養状態を成長曲線や検査データなどで評価して、必要に応じた保護者さまへの指導の計画・実施といった栄養管理業務を行っています。

私たち栄養士が考えた献立を形にするのが調理スタッフです。

調理室では、毎日朝・昼・夕・おやつを調理しています。また調理室に隣接して調乳設備があり、多いときには1日20リットルの粉ミルクを調乳しています。

調理や調乳の際には食中毒を起さないようマニュアルに沿った衛生管理を徹底して行い、食物アレルギー対応の除去食では何重にもチェックを行うことで誤配膳を防ぐなど、安全面には特に配慮をしています。入院患者の約半数が0歳から1歳で、離乳食の進み具合に個人差があることなどから、献立や食形態の個別対応も必要です。一人一人のこどもの成長・発達に合わせた食事を提供するために調理スタッフとの連携もかかせません。

入院中であつても季節感や食べる楽しさを味

わっていたできるように、毎月1回行事食を実施しています。写真は10月31日のハロウィンにちなんだ献立です。

病院食について毎年実施しているアンケートで、昨年は満足度94%と高い評価をいただきました。

食に関するお悩みに個別で相談

保護者さまからの疑問や心配事に個別でご相談に応じています。相談では、退院後の日常生活を意識した、わかりやすく実行しやすい具体的なアドバイスとなるよう心掛けています。入院中は給食自体が味や形態・量を体感できるよい媒体となっており、「入院をきっかけに離乳食が進んだ」「よく食べるようになった」などのうれしい声もいただきます。

食事相談は外来でも可能です。相談室には実際の食事の量や形態をイメージしやすいようフードモデルを展示しています。当院の診察券をお持ちであれば、電話でもご予約が可能です。「離乳食ってこれでいいの?」「食物アレルギーがあつて何を食べたらよいかわからない」「食べムラが大きくて……」など、お気軽にご相談ください。

ハロウィンメニュー

おばけオムライスとハートのポテトサラダ

- ①チキンライスをつくる。
- ②薄焼き卵を丸い形につくる（両面を焦げないように焼く）。
- ③②は少し冷ましてから目の部分を三角に切り抜く。
- ④①を丸い形に盛りつけ、上から③の薄焼き卵を乗せる。
- ⑤ケチャップで口を描く。
- ⑥具を小さく切ってつくったポテトサラダをハートの型で抜き、キヌサヤと共に添える。



要予約

栄養相談

祝日を除く月曜日から金曜日の10時・14時・15時

トピックス TOPICS



「ハロウィンパーティー」を 開催しました！

10月の病棟行事は「ハロウィンパーティー」でした。

ハロウィンを知っている年齢のお友だちは少なく、本来のハロウィンのお祭りとはいきませんが、かわいいかぼちゃおぼけの壁面を背景に記念撮影をしたり、かぼちゃのメダルやかばんを作ったりして過ごしました。

初めてシール貼りをするお友だちも多く、手に何度もついてしまうシールをお母さんにお手伝いをしてもらいながら一生懸命貼っていました。

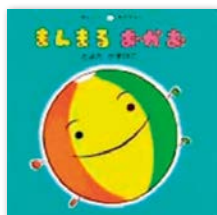
その後は、手作りのマラカスを振って遊び、楽しい雰囲気味わってもらいました。



絵本紹介



乳児向け



幼児向け



学童向け



『まんまるおかお』

作・絵 | とよた かずひこ
出版社 | アリス館

あらすじ

まんまるボールがころころ。まんまるふうせんもころころ。まんまるフライパンの上には、まんまるたまご。まんまるかがみには何がうつるかな？赤ちゃんが興味を持つ丸いものが集まって、「まんまる」のくりかえしが心地よい絵本です。

保育士よりおすすめPOINT

こどもたちが興味を持つ丸いものが集まってごあいさつ。一緒にあいさつしたり、「この丸いのは何かな？」とクイズ形式に展開することもできたり、楽しんで見ることができま。適度な擬音も心地よいリズムミカルな絵本です。

『きょだいなきょだいな』

作 | 長谷川 摂子(文) 隆矢 なな(絵)
出版社 | 福音館書店

あらすじ

広い高原の真ん中に巨大なピアノが一台。「あったとさあったとさ。広いのっぱら どんんなか。きょだいなピアノがあったとさ」。こどもが100人やってきて、ピアノのうでで鬼ごっこ。巨大な石けんや電話……。次々に大きなものが出てきますが、こどもたちはそれで遊んでしまします。

保育士よりおすすめPOINT

100人のこどもたちが、さまざまな巨大なもので思いっきり遊びます。「あったとさ あったとさ……」と、リズムミカルな言葉と元気の絵が、とても楽しい絵本です。

『ぼくのかえりみち』

作 | ひがし ちから(作・絵)
出版社 | BL出版

あらすじ

ある日の放課後、そらくんは、道に書かれた白線の上をたどって家に帰ることにしました。落ちないようにゆっくりゆっくり、そろそろ。出発した瞬間から、そらくんの周りは異世界に！さて、そらくんは無事に家に帰れるのでしょうか？

保育士よりおすすめPOINT

学校の帰り道、誰もが「あ、同じことしたことがある」という感想を持ちながら、あつという間に絵本の世界に引き込まれます。こどもたちにとって、手に汗を握りながら見たそれぞれの場面は、頭の中に残るのではないのでしょうか？こどものころ、誰もが一度は試みた遊びを、ダイナミックに描いた絵本です。

心の コラム



感謝の気持ち、思いやりの心をコンセプトに編集された、1日1話の人材教育冊子『月刊朝礼』。わかりやすいエピソードを交えて、豊かに生きるヒントを長年にわたり世に送り続けています。人間力の向上が家庭を、職場を、そして社会全体を明るくします。

きこいじきる

ある日曜日の夕方に、公園の鉄棒で逆上がりの練習をする男の子と、その父親の姿がありました。失敗してもくじけず頑張っているのですが、なかなか成功しません。

父親が「もっと地面を強く蹴ってみて」「もう少し鉄棒とお腹をくっつけるように」などとアドバイスをしながら見守っています。

とうとうその日は一度もできないまま、日が暮れてしまいました。

「きつとできるようになるから大丈夫」。落ち込む男の子を父親が励まし、2人は帰路につきました。

次の日、男の子は1人で練習をしています。何度も何度も繰り返すうちに、コツをつかんだのか、少しずつ形になっていきました。

空が暮れ始めたころ、スーッ姿の父親が公園に迎えにきました。今日は仕事だったのでしょう。父親が声を掛けると、男の子は気合を入れて勢いよく地面を蹴り上げました。そして、とうとう成功したのです。

驚いている父親の目の前で、男の子はもう一度逆上がりをして見せました。誇らしげな男の子のそばで、父親が泣きそうな顔でほほ笑んでいます。



子どもの成長を
見守りましょう

ゆったリズム

子どもの遊びと玩具の研究家であり、教育セミナーの講師も務める岩城敏之さんは、著書『絵本・お話・わらべ歌』で、次のように述べています。

「わらべ歌を歌うと、子どもが静かになったり、落ち着いたり、泣いている子が泣きやんだり、元気がない子が元気になったりするのです」

昔から伝わるわらべ歌は、先人の子育てや生き方の知恵が込められたものであり、不思議な効果を生むのだといいます。

「ねんねんころり おころりよ」という子守歌を、子どものところに聞かせてもらった人も多いのではないだろうか。他にも、「あんたがたどこさ」や「通リゃんせ」など、遊びのなかでわらべ歌に親しんだ人もいるでしょう。

確かに、その独特のリズムやメロディーは、聞くだけで心が穏やかになるような気がします。

岩城さんは、「いたいのいたいの とんでいけ」「よしよし、大丈夫」などの言葉も、わらべ歌と同じゆったりとしたリズムがあると言います。

せわしない現代だからこそ、子どもたちにわらべ歌を歌ってあげる機会を増やしたいものです。



わらべ歌を
子育てに取り入れましょう

予約サイトのURL

<http://ssc2.doctorqube.com/nakano-kids-hospital/>

※アクセス後の手順は画面がナビゲートします。

※QRが読み取れない場合は、お手数ですがURLをご入力ください。



メールアドレス
登録のお願い

メールアドレスをご登録いただくと、順番が近づくと【もうすぐメール】が送信されます。ぜひご登録ください。
[nakano-yoyaku@nakano-kodomo.or.jp] からメールが届くように、ドメイン許可設定をお願いします。

【表紙写真】

アリスの国保育園
園児

